



**バランスコース**  
低速での二輪車のバランス感覚をトレーニング。



**ブレーキングコース**  
高速からのブレーキングで運転能力を磨く。



**模擬市街地コース**  
信号のある交差点や、方向転換コースなど市街地を想定した危険予測運転ができる。

**バリエブルコース**  
平坦なコースを自在に使って、さまざまなメニューに対応可能。



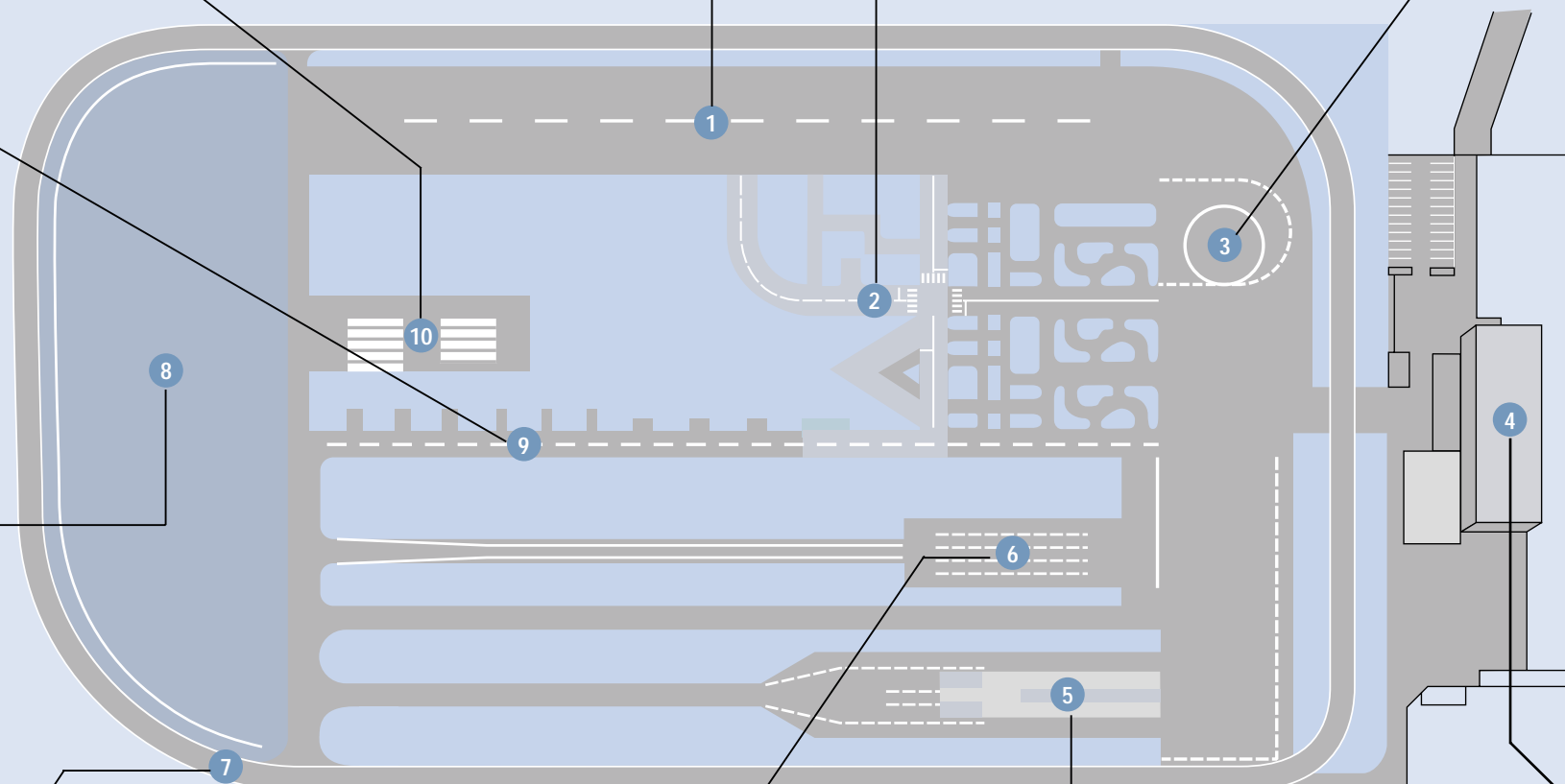
**車庫入れ・縦列駐車コース**  
車両感覚をしっかりとマスターするための専用コース。車庫幅が違うコースを用意、レベルに応じた練習が可能。



**オフロードコース**  
トライアル車やオフロード車による多様なトレーニングが可能。



**1周1.0kmの周回コース**  
基本走行から応用走行まで全長1.0kmの周回コースで、多様な訓練が可能に。



**反応回避コース**  
反応時間、停止距離と回避方向の正誤率を数値データ化することで、自分の運転を客観的に評価。



**低μ(ミュー)路コース**  
滑りやすい路面でのブレーキングを体験することで、クルマの特性が理解できる。

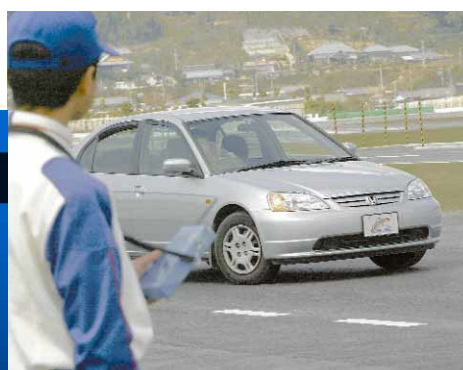


**管理棟**  
危険予測能力を高める安全運転教育用二輪・四輪シミュレーターを使った科学的な教育が可能に。二輪シミュレーターでは走行結果をプリントアウトできる。視聴覚教室には大画面のプロジェクターを配備。カルテなどが画像に出て、実技後、すぐに座学で診断も行なえる。

交通教育センターレインボー 浜名湖は先進設備を使って二輪・四輪のクルマの特性や交通事故を防ぐための運転技術や知識を受講者自ら楽しみながら学べるほかより実践的な個人別の運転データを収集し、過去のデータとも比較できる電子カルテ化を実現しました。この新しい交通教育センターの全貌と、静岡県警察の期待の声を紹介します。

# より実践的によりパーソナルに 先進的な交通安全教育を創造する

反応回避コースの信号のリセットもボタンで端末で行なうことができる。



研修終了後に、一人ひとりに出力されるセーフティ・アドバイス・シート。前回データとの比較も可能に。

また、シミュレーターを使った危険予測やマルチアイシステム（録画再生機能。走行後、360度の角度から自分の走行をリプレイできる）との活用で、より実践的に客観的に自分の運転を振り返ることができる。

交通安全教育において、近年、教育効果検証の必要性が強く求められている。また受講者からも運転能力を個人別の運転評価としてデータ化することで自分のウィークポイントを把握、今後の安全運転に活かしたいという要望が多い。

交通教育センターレインボー 浜名湖では、受講者一人ひとりの運転に関する研修項目のデータを収集し、分析し、安全アドバイスを発行する「運転アドバイスシステム」を導入した。

これは、視力などの身体機能データに加え、反応時間や停止距離、制動距離などを実車で測定し、データ化するもの。この結果を研修当日に画面で配布、数字やアドバイスコメントから今後の安全運転に役立てていただくほか、結果を記録に残すことで、前回参加時のデータとの比較が可能になった。

## 実践的客観データの蓄積で 教育効果の検証を実現 運転アドバイスシステム



受講者は空いている時間に個人データをタッチパネル式モニターで登録。

### 診断表（個人表）

運転者自身のための  
セーフティ・アドバイス・シート

項目	測定値	基準値	評価
反応時間	0.330	0.300	標準
停止距離	23.0	20.0	標準
制動距離	10.0	10.0	標準
制動G	0.330	0.300	標準
回避方向	正	正	標準
回避距離	2.0	2.0	標準
回避角度	90度	90度	標準
回避速度	50km/h	50km/h	標準
回避距離	10.0	10.0	標準
回避角度	90度	90度	標準
回避速度	50km/h	50km/h	標準